

のかなめ消防団

若い力(青年層)の確保が必要

日頃の訓練が実を結ぶ

当町の消防団は、9分団31部からなり、総勢436人で組織されています。

そして、日頃から各種訓練などに励み、消防組合と共に昼夜を問わず私たちの生命・財産を守ってくれる頼もしい存在で、今、消防団の活動に対し大きな期待が寄せられています。

そこで、今回は消防団の活動と現状についてお知らせします。

日頃の活動と訓練

当町の消防団は、毎年春秋の火災予防運動防火パレード・各家庭の消火器の詰め替え・歳末警戒などを行い、昼夜をとわず町民の生命と財産を守っています。

また、日頃は秩序ある団体行動を習得するための規律、更に、消防操法技術の向上、併せて土気の高揚を図ることにより地域防災体制の確立を期することを目的に各種訓練を行っています。



訓練の成果を…… 操法大会で演技をする操法要員

期待される団員

近年、複雑多様化するなかで、災害に十分対処できるような消防防災体制を確立するために、地域の実情に明るく、迅速な対応ができる消防団員の活躍が、これまで以上に期待されています。

消防団員になって



中央分団第1部
(橋場) 20歳
藤田道明

正しい規律と親睦が図れる

勤務先が地元で一年が経過し、職場以外の場所でも、社会人として、規律正しく、大勢の人と交流する事により視野が広げられ、親睦が図れる場は、消防活動が一番良いと思つて入団しました。



第3分団第3部
(台) 23歳
霞 清和

地域社会に貢献したい

私が消防団に入団して感じたことは、地域住民の生命と財産を災害から守るために、とても重要な仕事をしていることがわかりました。これからも、消防活動を通じて地域社会に貢献したいと思います。